

2024年12月29日

「あなたを忘れない」

イザヤ書 49:13-16

早川 真牧師

女性と乳飲み子の関係、それは、他のどの関係よりも密接な関係であると言えるでしょう。しかし神の愛と憐れみは、女性が乳飲み子に抱く愛と憐れみに勝ると言うことがここに示されています。

神様はここで、ご自分の手のひらにあなたを刻むと語っておられます。この手のひらという言葉は複数形で書かれています。つまり、両手のひらにあなたを刻むと言われています。ここで言われているあなたとは、ここにいる私たちを含む全ての人のことです。かつて神の民はイスラエルという一つの民族でしたが、神様はイエス・キリストを通して全ての人にご自分の民となる資格を与えられました。そしてご自分の民となった私たちを決して忘れないために、両手のひらに刻んでくださるということです。そしてそれは十字架を意味しています。手に釘を打つと言うことは言うまでもなく痛みが生じます。神は激しい痛みを負うほどに私たちを愛しておられます。イエスの十字架の掌の傷は神の私たちに対する深い愛を示しています。

私たちの今年一年の歩みは決して喜ばしい出来事ばかりではなかったことと思います。なぜ神はこのようなことを許されたのかと神に叫びたくなるようなこともあったことと思います。しかし神はご自分の民を決して見捨てず忘れず、時が来れば必ず失われたものを回復してくださる方であることをこの一年の終わりに改めて覚えたいと思います。私たちにとって永遠のお方の両手のひらに刻まれる、それほど確かなことはありません。その恵みに感謝して新しい年に向かってまいりたいと思います。